1 FD活動の実施体制、取り組みの概要

・ 今年度から部局教育運営委員全員が FD となり部局内の FD 推進を図ることとした。うち 代表して1名が部局 FD 委員とし、教育改革専門委員に参加した。

2 ピア授業参観実施状況

期間	公開授業数	参観者数	特記事項		
前期	2	8	単なるピア「参観」にとどまらず、複数教員が		
後期	1	6	授業計画作成、運営、実施後の意見交換など		
年度合計	度合計 3 14 密に		密に実施している(科目によっては専攻横断的		
			に実施)。そのベースで記載している。		

3 FDに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容(タイトル)	種別	参加者数	
2016/04/28	FD カンファレンス (大阪府立大学人間社会学		78	
	部・大学院人間社会学研究科/学部生・大学院			
	生・研究生を対象としたキャンパス・ハラスメ			
	ントに関する調査・集計結果報告(2016年3月)			
	の共有)			
2016/12/15	FD カンファレンス(2015 年度 大学院博士前		80	
	期課程修了予定者アンケート分析結果の共有)			

4 FDに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
部局の教育運営委員会	FD関連事項の有無は開催月による。	毎月	9

5 その他取り組みの具体的実施状況

- 1. TA研修(授業の参観、レポートの提出)を実施した。
- 2. TA 研修で提出されたレポートで、授業担当者の FD として有用と思われる指摘などについては、発言の自由を確保するため、別ルートで当事者に伝える体制を整えた。
- 3. 2016 年度の授業改善に関しては、大学院修了者アンケートにて実施し、研究科としての対応を研究科長に求めた。そのなかで各専攻において対応すべき点は、各専攻主任において対応することにした。
- 4. 専攻横断的授業に関して、授業担当者任せでなく教育運営委員会課題として調整した。

人間社会システム科学研究科 2017 (平成 29) 年度 FD 活動計画

FD 実施組織体制の更なる整備

1) 大学院 FD 部会:

研究科の教育運営委員全員がFD活動の責任をもつこととしたが、研究科教育運営委員会内でより積極的に意見を出す時間を設ける。

2) 大学院 FD カンファレンスの開催

学生アンケート結果の分析と課題の共有 FD活動の総括・方針の協議 FD研修

2017 年度実施計画

- 3) TA 研修の実施
- 4) 教育改善のための学生アンケート
- 5) カリキュラム改善の検討
 - ○大学院カリキュラム(授業科目構成・コース編成、提供クラス数)の改善学生の要望を聞いて、提供クラス数、時間割の改善など、可能な対応を検討して、改善の実をあげる。
- 6) 授業改善のための取り組み
 - ○大学院教育向上のための種々の取り組み。特に成績評価基準の明確化と、研究倫理教育 の充実を検討。
 - ○その他、各専攻による独自の取り組みなど
 - ○専攻横断する、複数教員で実施する授業の充実、体制作り